

②生産履歴の明確化や減農薬栽培等による付加価値向上

新規製材法とJAS認証を活用した球磨産杉・桧製材品のブランド化事業

木造住宅建材用として産出される球磨地方の杉や桧を丸太熱処理と芯取り製材により、JAS認証製材（機械等級区分構造用製材）や羽柄材、化粧板等として供給することで杉・桧製材品のブランド化をはかる。

連携体

農林漁業者 九州横井林業(株)、湯前木材事業協同組合（以上、林業）

九州横井林業(株)は素材の生産と製材、養生乾燥を行い、湯前木材事業協同組合は丸太を熱処理する。

球磨プレカット(株)(木材・木製品製造業)

(株)紅中(建築材料、鉱物・金属材料等卸売業)

球磨プレカット(株)がJAS認証材などにグレーディングした製材を、(株)紅中が工務店、ビルダー等に販売する。

連携参加者 上球磨森林組合(林業)、熊本県林業研究指導所

上球磨森林組合は素材生産と製材の支援を、熊本県林業研究指導所は構造用材としての技術的支援をする。

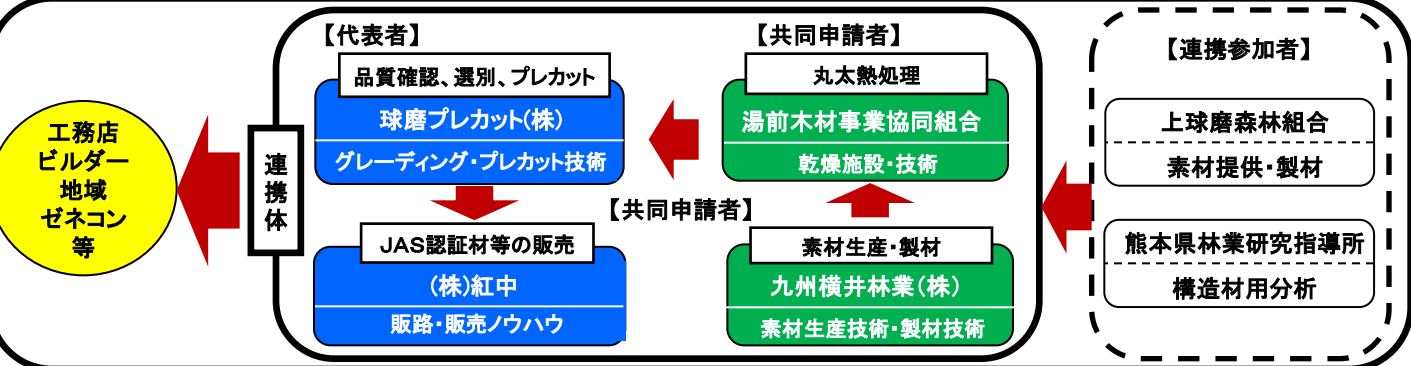
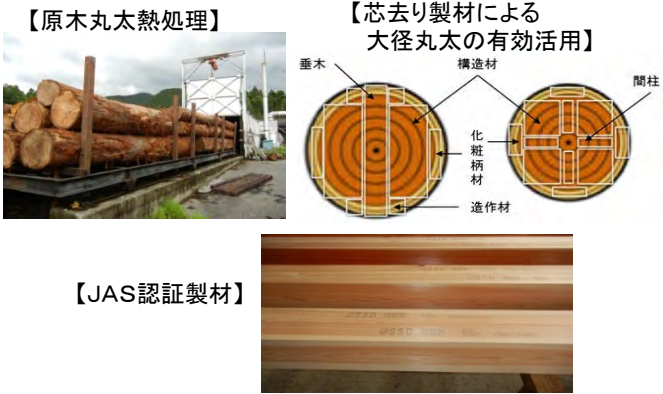
サポート機関等 熊本県中小企業団体中央会、(独)中小企業基盤整備機構 九州本部

連携の経緯

優良な住宅の供給を通じて、住まい手に安全と豊かさを提供し、日本の林業の再生と地域経済の活性化を図ることを目的に、4社は平成20年から国産無垢材の品質表示推進や木材産地と消費地をつなぐビジネスモデルの構築などの推進により連携してきた。

連携に当たった課題や工夫等

JAS認証の構造用国産製材品は殆ど流通していない中で、JAS（機械等級区分製材）認証制度に基づく品質保証部材を供給する。しかも、梁桁における高強度化と商品全般に高意匠性能（節・干割れの少なさと木本来の美しい色艶）に優れ、かつ従来の乾燥製材品並みの価格での提供を目指して、丸太熱処理と芯取り製材に取組み、原木丸太の最大限の有効活用を行う。



連携による効果

農林漁業者 5年で1億2千万円の売上高増加、大径丸太の有効活用、球磨製材品のブランド化

品質にこだわった取り組みによるブランド化と大径丸太の有効活用することで、売上の増加が期待される。

中小企業者 5年で3億3千万円の売上高増加、高付加価値商品の開発

JAS認証材でしかも意匠性に優れた製材品を開発することにより、売上の増加と収益性の改善が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名	: 球磨プレカット株式会社	所在地	: 熊本県球磨郡湯前町5337
T E L	: 0966-43-2331	F A X	: 0966-43-2333
E - m a i l	: hashi-ryu@kuma-pc.jp	ホームページ	: http://kumaprecut.com/